

独立行政法人 労働者健康安全機構 釧路ろうさい病院

# 地域医療連携総合センター だより



## I. 医師異動情報

### II. 緩和ケア病棟にかかわる医療チームの紹介

### III. 講演会のご案内

発行: 令和3年11月 釧路労災病院地域医療連携総合センター



 理念: 最新の知識と技術に基づき、良質で信頼される医療を実践します

## I. 医師異動情報

■退職: 令和3年11月30日付け 泌尿器科副部長 山本 祥太

■採用: 令和3年12月1日付け 泌尿器科副部長 村西 雄基 (ムラニシ ユウキ)  
得意分野: 泌尿器科一般  
専門資格: 日本泌尿器科学会専門医  
ロボット手術認定資格

詳しくは、12月更新の病院ホームページをご覧ください

## II. 緩和ケア病棟にかかわる医療チームの紹介 (第5回目)

### 内科医の立場からの緩和ケア病棟への期待・・・内科・腫瘍内科部長 澤田 憲太郎

当院は、厚生労働省の地域がん診療拠点病院に指定されており、内科でも多くのがん患者さんを診療しております。しかしながら、これまで当院には「緩和ケア病棟」がなく、終末期の患者さんは内科・外科などの主治医が緩和ケアチームから治療のアドバイスなどを受けながら、それぞれの病棟で担当することが多い状況でした。その中、来年度より緩和ケア病棟が開設されることで、患者さんがより良い環境で終末期を過ごすことができると考えられ、大きな期待が寄せられています。ここでは、私たち内科医の立場から、緩和ケア病棟へ期待することを挙げさせていただきます。



内科医師

①落ち着いた環境、細やかなケアの提供: 私たちの主戦場(?)である内科病棟では、毎日多くの患者さんが入院され、退院されてゆきます。当院は釧路市の救急指定病院でもありますので、これは必然的なものなのですが、急性期の患者さんの対応が忙しいことで、緩和ケアが必要な患者さんに十分な落ち着いた環境やお話を聞いて差し上げる時間がとれないということが懸念点でした。その点、緩和ケア病棟は基本的に救急の入院などが少なく、緩和ケア医・緩和ケアチームなども含めた十分なスタッフを配置することができるため、急性期病棟では難しかった細やかなケアを提供できる落ち着いた環境を提供してゆけると期待しています。

②一貫したがん治療の提供：当院は釧路地区では2つしかない地域がん診療連携拠点病院の1つであることや、道東地区唯一の腫瘍内科外来があることから、病状が複雑ながん患者さん、全身状態の悪いがん患者さんが、市立釧路総合病院、釧路赤十字病院を含めた釧路・根室管内の多くの病院から紹介されて参りますが、逆に終末期の患者さんを市内の長期療養病院に転院することも多くあります。患者さんにとって、病院を移ることは身体的・精神的に大きな負担となることが多く、私たちも最も気を遣うところです。緩和ケア病棟が開設されることで、紹介いただいてから最期までを当院で一貫して診させていただくことができ、これまでよりもさらに安心できるがん治療を提供できるのではないかと期待しています。

③面会制限の緩和：現在、当院では新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、入院後の面会を制限しており、担当医からの病状説明や病状悪化時以外の患者さんご家族との面会ができない状態です（2021年11月時点）。その点、緩和ケア病棟は個室ユニットを多く設置していますので、これまでよりも少し早い段階から、ご家族への面会を設定することができるようになる可能性があります。担当医としては、病状が芳しくないのが入院してほしい、しかしご家族に会えなくなるので患者さんが了承されない、といった板挟みの状況を改善できるのではと期待しています。

このように、緩和ケア病棟の開設は、私たち内科医にとっても患者さんにとっても、より良い医療につながる可能性があるかと期待しています。今後も釧路・根室地域のがん診療の中心的役割を担う病院として、常に患者さんのためを考えてより良い環境を作っていければと思っています。



来年4月に開設される「緩和ケア病棟」にかかわる医療チームを5回にわたり、ご紹介いたしました。今後も、「身近に感じる緩和ケア」をめざし、随時、緩和ケア病棟に関する情報発信をいたします。

緩和ケアに関する「無料出前講座」(WebもOK)も実施していますので、皆さまの施設でスタッフ研修などの機会がありましたら、お気軽に地域医療連携総合センター連携室までご連絡願います。ご連絡はメールでも受付しております。renkei@kushiro.johas.go.jp 連携室 及川

### III. 講演会のご案内



#### ● 第18回 師走講演会

■ 開催日：令和3年12月12日(日) 16:00~18:00(開場は15:30)

■ 会場：釧路労災病院3階講堂(予約不要)/オンライン参加の方は事前登録が必要です

コロナとHIVをテーマとした市民公開講座を開催いたします。



開催はご来場とオンライン参加(Zoom)のハイブリッド形式です。

詳しくは、病院ホームページをご覧ください。

※左記のQRコードから直接アクセスできます。

#### ■ 講演1 札幌のCOVID19診療とHIV

演者：札幌医科大学血液内科助教 池田 博 先生(リモート出演)

#### ■ 講演2 コロナ禍でのHIV陽性者の変化

演者：北海道大学病院 HIV診療支援センター

医科外来ナースセンター副看護部長 渡部 恵子 氏(リモート出演)

#### ■ 講演3 東京ど真ん中奮戦記(都立駒込病院でのコロナとHIV)

演者：都立駒込病院 感染症センター長 今村 顕史 先生(ビデオメッセージ)

